

2013年

夏号

第 179 号

飛鳥

かわら版

ASUKA KAWARABAN

発行所

飛鳥出版室

発行人 永野 正将

〒780-0945 高知市本宮町65-6

電話 088-850-0588

e-mail:info@asuka-net.jp

http://www.asuka-net.jp



「海を渡る風」黒潮町入野海岸

平年より10日ほど早く梅雨明けした四国地方。
いよいよ夏本番です。

土佐の夏は、よさこい祭りに向けて熱く燃え
上がります。そのよさこい祭りも今年は第60回
の記念すべき年。昨年よりも18チーム多い
216チームの熱い演舞に、街中がよさこい一色
に染め上げられ、より一層盛り上がりを見せる
ことでしょう。

新連載「風の人、土の人」……………	2
キルギスタンからコンニチハ ㊦……………氏原名美	4
ヒナタクサイ日記 ㊦……………やまげんらう	5
いろいろかいろ 十……………安藝真一	6
文章カレベルアップ講座 (※)……………水木和香	7
私の出版体験談……………『国説 土佐備長炭』宮本敏彦	8
出版物紹介……………	9
夏休み緊急企画! あなたのオススメ「本っぽいもの」……	10
催し物案内板……………	11
わが家の太郎 ㊦……………永野雅子	12

飛鳥「かわら版」は、あらゆる世代の自分史・個人誌作りを応援します。

「知家」を想う人たちによる知と技の融合 ～



協会の活動に関わる人々それぞれの立場から見た同協会の録し発信する立場から。記録するという客観的な立場にお

二〇一三年六月九日（日）。四万十町・旧窪川地区で、永田農法で育てる「山田錦」の田植え体験と交流会が開催されました。「土佐酒を俯瞰的に捉える活動」の一環として企画されたこのイベントは、日本名門酒会と土佐学協会・土佐酒学研究会によるコラボレーション企画で、今年で六年目になります。この田植え体験を皮切りに、一年間で酒造りとその製品化に関わる様々なイベントが催され、最後には純米酒「日土人（ひとびと）」が完成します。

私は、自主上映映像作品『メタセコイアの風』のプロモーション映像を完成させるべく、その映像の背景で歌を歌ってくれている「ゆきちゃん けんちゃん。」（シンガーソングライターの小笠原献一さんと高知出身ユニット「Biscotti」のyukieさんによる変則ユニット）らと共に参加させていただきました。昨年、同活動取材させていただいた際に作成した『メタセコイアの風 予告編』。この映像がいرونなどところで波紋を広げてくれたそう、

「今年上映効果でしようか。人数激増ですので、ほとんど告知なしでこんなに人が集まりました！」と、司牡丹酒造株式会社の竹村昭彦社長（土佐学協会理事長、土佐酒学研究会座長）より、うれいお言葉をいただきました。当日はあいにくの雨でしたが、ふたを開けてみると、キャンセルされた方を除いても昨年の一八〇名を大きく上回る二三〇名が参加されていました。

声援が、どこまでも、ミュージシャン達の気持ちをのせてくれました！



そしていよいよ、青空のようなテントの下で「ゆきちゃん けんちゃん。」によるライブ演奏と撮影開始！！とても雨が降っているとは思えないシチュエーションと、とてもジメジメした梅雨時とは思えないお客様の晴れ晴れとした笑顔と

高くそびえ 二つ
並んでいるのはどうして？
きつと それは 土の下で
手をつないでいるから

歌に出てくるこの詞は、地元の方々が、山の手前、上昇気流にのって一番いい風が吹く場所、二本並んだメタセコイアの木陰に宴の場所を作ってくれたことに対し、昨年ゲストでおいでた永田農法の

私がどうしてもこの絵を記録に残しておきたかった理由のひとつに、「鳩オヤジ」さんのオヤジさんである島岡幹夫さんから先人達への敬意の気持ちがあります。窪川の自然、農業、畜産が、彼らの子孫にこんなにも豊かな財産を残した結果を、たくさんの方に見ていただきたい

永田照喜治先生が「この風が一番のご馳走です」と言って下さったことばかり、発想をいただきました。お陰様で予想以上に、もしかしたら晴天よりもいい絵が撮れたかもしれませんので、頑張ってプロモーショ映像の制作に取り掛かろうと思います！

一九七五年、旧窪川町に原子力発電所建設計画が持ち上がった。島岡幹夫さん(当時三十八歳)は、この時、高知県窪川町自民党支部広報副委員長だった。二十五歳までは大阪府警の警官だった人である。この種の話は、一般の人が知る前に保守系の有力者の間で

と思っただけです。ルポライターの成川順さんという方が「原発マネーに負けなかった男」という記事を書いていらっしやいます。以下その中の文章(<http://www.janjanlog.com/archives/60796>)より抜粋させていただきます。

「窪川町には、当時、農業と畜産で八十億、林業で三十億、縫製工場などの加工産業を合わせた、一五〇億近い収入があったのです。四国有数の食糧生産地なのに、たかだか二十億や三十億の税収に目がくらみ、耐用年数三十年程度の原発のために、二〇〇年続いてきた農業を犠牲にするのは、愚の骨頂であります」

テーマソング
『メタセコイアの下で』
好評販売中♪

定価 500 円(税込)



Coming
soon

定価 2000 円(税込)
『メタセコイアの風』
完成DVDご予約受付中！
メールでお申し込みいただければ
送料無料でお届けいたします。
korisu@lime.ocn.ne.jp

日本名門酒会HP <http://www.meimonshu.jp/>
土佐学協会HP <http://tosagaku.cocolog-nifty.com/report/>
『メタセコイアの風 予告編』は、「メタセコイアの風 動画」で検索していただければご覧になれます。

新連載 風の人、土の人 ~“高



農業大学校跡

新連載「風の人、土の人」では、全4回にわたり、土佐学活動を紹介していきます。記念すべき第1回は、活動を記して、一連の活動をどのように見ているのでしょうか。

根回しされるのが常である。あの会合で計画を打ち明けられた時、町の有力者がだれも反対しない中で、彼だけは、「ちよつと待ってください！」と異議をはさんだ。放射能が気がかりだったのである。

この日から島岡さんらが起こした壮絶な反対運動が、三十八年経った今現在、こうして全国に誇れる農業、畜産王国を築いているのです。彼らの子孫のこの笑顔、これから高知から全国に発信していきたいと思います！
(まっただまき／アトリエよくばり子リス代表)

というのが、島岡さんの主張であつた。



うじはら なみ
高岡郡越知町生まれ／北大でロシア語を学ぶ／2001年からキルギス在／国立ビジネス大学日本語日本文学科学科長

母の気持ちと子の思い

氏 原 名 美

「母に泣かれました」——学生がつぶやいた。パソコンのキーボードに手を置いたまま窓の外をぼんやり眺めている。

卒業を控え、日本の大学院を目標に文科省の奨学生申請に添付する研究計画書を打ち出していたときだ。

前の日、母親に「私を置いていくのか」と責められたと言ったのだ。一人っ子というわけではない。姉もいるし、妹もいる。

モンゴルなどと同様、古来大家族制度のキルギスでは、末の男子が両親の家に残るといふ伝統が生きている。子沢山の昔は、先に出て行く上の息子たちが家に残った親と姉妹を次々に助ける合理的システムで、兄弟の連帯が一家を支えていた。ところが、ここでも少子化で、最近は一大家族に男子ひとりということが珍しくなくなった。なのに、今でも孫の世話をしながら息子とその妻にかしずかれる生活が理想のようだ。古い世代はなかなか意識を変えられないし、社会に相互扶助という習慣がないから老後に不安を感じるのとは分らないでもない。しかし、親思いの子ほど、自分の夢を潰されていくの

は理不尽だ。

高校三年生の二学期、学校で進学希望大学の調査があった。単純だった私は、寒くて雪が降るところ、地平線が見えるところ、この二つを理由に調査用紙に北大と記入した。しばらくして担任と親の二者懇談があった。

母の話によると、「北海道って言うんですが、考え直させましょうか」と先生に聞かれたそうだった。当時は北海道は海を二つ越えた「最果ての蝦夷地」というイメージだった。祖母など「熊が出るぞね、やめちよき」と真面目な顔で言ったものだ。

心配顔の先生に、母は「遠くてもまだ日本ですから」と答えた。そのおかげかどうか、私は北海道で、希望通りに寒さに震え、吹雪で遭難しかけたこともある。ただし、地平線はシベリアに行くまでは眺めることができなかった。

親に後押しされて、蝦夷地どころか「もう日本ではない」ところまで来てしまった。たどり着いたのは、便利とは程遠い暮らし、経済的な展望もない。しかし、誰に強いられる

わけでもないから、自分の境遇を嘆くことはない。今あるのも親のおかげと感謝している。「行っておいで」と今でも手を振り続けてくれているように思う。

もちろん、娘と息子では立場が違うかもしれない。弟は若い時から、いずれは親の面倒を見ると覚悟していた節がある。実の親に求められたわけではない。世間がそう求めているからだ。まして件の学生は、福祉が機能しない国では自分をおいて母を守るものはないと思っている。母の涙はやりきれない。「でも」と学生が自分の叔父の話始めた。

叔父は、モスクワの大学で学んでいたが、そばにいてほしいと親に呼び戻された。その直後ソ連が崩壊、キルギスの経済は立ち行かなくなり、職を転々とした叔父は、親が亡くなる直前まで一切家には寄り付かなかったそうだった。

「やっぱり、親を恨んだりしたくないです。もう一度、母に話してみます」と言って、学生はパソコンに向き直り、計画書の続きを打ち始めた。

一年前の夏休み、みーたは大学病院で「ウィスク・スリー」という検査を受けた。みーたの「脳」の特性を知るための検査である。主治医となったセンセイは、検査結果をフムフムと見て「みーたくん、君には君に合った学習方法があるよ」と言った。

これまで何度か書いてきたが、みーたは勉強が苦手だ。とくに国語は文章の読解、漢字の読み書きなど、基本的なところが最大の苦手だ。国語が不得手だと、算数の文章題が解けないし、理科や社会もテストの質問が理解できなかったりする。そんなわけで、みーたは毎年担任から「勉強が遅れている児童」としてインプットされてきた。けれど、私たち両親はこのことについて、わりと楽観的に捉えていた。「真面目にやっつてさえ

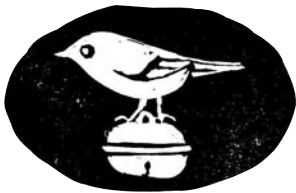
いたら、そのうちできるようになるものだし、勉強なんてできなくても大丈夫。暮らしていけるよ」と思っているからだ。ところが、これでも悠長なことを言っ

ヒナタカイロヨの+五

み
す
い。

by
やまげんらう

(香南市在住)



ていられるか!? みたいない出来事が一学期の終わりに起きた。そのころ、みーたのクラスではわかる子がわからない子に問題の解き方を教えるという学習がすめられていて、みーたも隣の席の子から習っていた。隣の席の友だちは大変根気のある子で、毎日一生けん命教えてくれていたのだが、とうとうある日、さじを投げたらしい。家に帰ってきたみーたは、「みーたはバカなが?」って言われた」と涙をこぼした。「なんでぼくは勉強ができんがやる」私は授業の進め方にちよつと無理があるんじゃないかと思ったので、担任と話をしてみたのだが、担任は「みーたくんがほかの五年生と同じようにできないことに、私も困っています」と、本当に困ったふうだった。

『みんなちがって、みんないい』と学校で習ったけれど、実際の学校は子どもを全員同じように並ばせようとする。それは昔も今も変わらないのだなあ、と悲しくなった。実は、私は教室にいるのが苦しい小学生だった。自分が周りから浮いている居心地の悪さを抱えて、ときどき学校を休んでは心のバランスをとっていた。そんな私が、今こんなにも学校に関わらなければならぬのは「親の因果が子に報い」というやつですか? トホホ。

なんの解決もないままだったが、夏休みが始まると、学校に気疲れすることなく仕事と子どもの勉強と遊びで平和に暮らす日々。私は亭主・英魚に「いっそ、みーたを学校へ行かせるのはやめようかな」と言ってみた。英魚は「オレは、友だちに会えるき、学校が好きやったよ」とやんわり否定。実は、この人も小学校から勉強について行けずに落ちこぼれた過去を持つ。形は違えど、私たちはふたりとも義務教育のはみ出しもの同士：なのだが、学校への思いはちよつと違うらしい。当のみーたは? と気持ち聞いてみると「学校へは

行く」とのこと。それなら、どうにかして学校と折り合いをつけなくては。

それから数日後、ふと目が止まった新聞記事に『学習障害』という見慣れないことば。「もしや」と思い、学校に相談の電話をする。校長から大学病院での検査を勧められたのだった(冒頭に戻る)。

検査の結果を受けて学校側が、みーたを週に数時間の個別授業「通級」が受けられるようにしてくれた。実は、この話にオチらしい最後はない。ただ、この一年、通級での勉強が充実しているみーたを見ていて、「オレらの時代に通級があったら、オレも勉強をあきらめんでいけたかなあ」と英魚が言ったことと、私は多分そこからも逃げただろうなと思ったことを書いておこうと思う。それから、みーたが受けた検査の内容と結果を見て、小学生の頃の私が抱えていた生きづらさは、こういうことだったのかとすごく納得したことも加えておきたい。

ひとはそれぞれ。生き方も教育も、もつと選択肢があつていい。いつか、すべての子どもが安心して学べる「場所」ができますように。

い
ろ
ろ
か
い
ろ
その十

梅しごと

安藝員一



梅干しを作ろうと思いついた。
雨の日曜日、重なり合う傘の波を
泳ぐように梅を探して帰る。

さて、と。料理本を開いて驚い
た。思いがけない程の段取り。先
ず蒂を取り↓洗い↓塩まぶして冷
暗所へ、ここまでで三日。白梅酢
上^{あか}って赤紫蘇^{あかしそ}の葉、揉み洗いと
灰汁^{あけ}抜き、梅酢^{あかしそ}加えて、このまま
二十一日間放置。梅雨明けを聞い
て、天日に干すこと三日間。容器
に干し梅入れ、干した紫蘇の葉を
かぶせて密閉すること六十日。つ
まり早くても、合計八十五日間の
作業！何たる長丁場^{ながちやば}。

以前、何回か作った記憶がある
が、あれは塩漬けだけのことが。
かなりの手抜きだったのを思い知
らされることになった。これ程の
手順、日本の誰かが思い付いたの
か、もしや、中国大陸の誰かなの
か。どちらにせよ、事の始めは、
そこそこの手探りに、歳^{とし}ふる毎に
幾人かの知恵と蘊蓄^{うんそく}が交錯^{さくごく}して、
事ここに極^{きま}まりの手順。

「つくりかた」という言葉を見
付ける度に私の胸の奥に何やら火
がともし、吸い寄せられて行く。
小学生の頃、戦時中の所為^{せい}もあつ
てヒコキづくりが流行^{はや}った。宿
題に模型ヒコキ造りも出た。竹
ヒゴと細い角材に薄葉紙^{うすは}のセツト
が長い紙袋に入れられて売られて
いた。胴体^{どうたい}はなんとか出来たが、
問題は翼。竹ヒゴの両端^{りょうたん}を両手に
持つて曲げながら、蠟燭^{ろうそく}にかざし
て炙^{あぶ}る。ゆっくりの呼吸と炎の加
減が今ひとつ判らずに、あれこれ
の思案。上げ、下げ、押し、弛^{ゆる}め
るうちに、幽かな音と共に竹ヒゴ
は焼けて、無残にも三角。楕圓^{だえん}の
カーブは、夢の又、夢。もう一つ
の翼も無念のうちに焼け折れた。
予備の竹ヒゴのありようもなく、
泣く思いで三角の翼に薄葉紙^{うすは}を貼
り、ともかくも登校する。友達ら

はそれぞれに見事にカーブした翼
のヒコキをツンと机の上に並べ
誰かの冷笑の眼が私の作品を見て
いるのを感じ、ただ俯^{うつむ}くばかり。
そんな昔の失敗があっても、こ

の歳に至るまで「つくりかた」と
いう五文字は媚薬^{めいやく}のように舞い降
りる。「つくりかた」が工作であ
れ、陶芸であれ、今、熱中してい
る農作業などは、ことごとくの種
蒔きの手順、苗植え付けのコツ。
つくりかた興奮のめじろ押し。何
より面白いのは料理に開花する。
飽きる事がない。このごろは料理
手順の事を、若い女性誌では「レ
シピ」という英語の表現で云いま
わしをして、食材や出来上がりの
写真もひところよりも格別に美し
く、何より食感の表現は見事なあ
ざやかさであるが、要は彼女らが
胸とどろかして作っているや否
や、と疑って見たくもなる。

スーパリーの店長が私に云うには
「このごろの若い方は包丁を持た
ないの、刺身は切ってパック。
、三枚におろして頂戴^a」という客
が少なくなりまして…。なるほ
どその店のレジに並ぶと、私の前
の主婦の山盛りのキャリーバック
は、出来合いのおかずパックが七
つ八つ。野菜、生鮮ものは皆無で

底には冷凍パックの箱が五つ六
つ。発泡酒やらジュースのパック
やらがゴロゴロ。天辺には菓子パ
ンのいくつかがゆらゆらと転がり
落ちる程のピラミッド。それに聞
くともなしに聞こえるその山盛り
の価格。「お待たせしました六五
一三円になります！」うまい筈の
ないこれ程の食品に支払われるこ
の代価。私はかすかな眩暈^{めまい}によ
めくばかりとなる。

、つくる時間が無い^a。すぐ食べ
たい^a。子供が待てない^aと云う
ことの、どれかの云い訳がこのて
んこ盛りの中味であろうが、そう
して、手間を省いて、手元に残つ
た時間の分量がどれ程のものでそ
れを何かに使うに足りている価値
があったのだろうか。何よりも美
味しいのだろうか。一家で食べ尽
くせば「飽食^{やぶみ}」なる矢文^{やぶみ}は飛ん
では来ないが、満足感が残ったの
だろうか、と思う。

焦げて三角に折れたヒコキの
翼のアーチの向こうに、ものを作
る楽しみの道が洞穴の奥にと続い
ている。又、誘われて足を入れる。
梅のなり口^{なりぐち}についている蒂^たを竹
串で取り除き、私はゆっくりと、
流水で洗いかかった。

（あきしんいち／高知市）

一步先へ！文章力レベルアップ講座(9)

高度な表現方法「倒置法」

水木和香



みずき わか
高知市在住。フリーライター、
生涯学習コーディネーター。
文章教室や漫画の原作教室など
高知市を中心に開催している。

「何やってんのよ、この子は！」
子どもの悪戯を見つけて、つい
声を荒らげてしまったお母さん。
通常の順番だと「この子は何やっ
てんのよ」となり、この方がやや
冷静であるようにも思えます。同
じ言葉でも順番を変えるだけで、
ずいぶん捉え方が違ってくるので
す。

語順を変えることで、意味を強
調したり、反発している気持ちを
表したりするのが『倒置法』です。

日本語の場合は語順が比較的自
由で、主語によって動詞の語尾が
変化することはありません。です
ので、意味合いを強調したり、感
情をぶつけて読み手の気持ちを揺
さぶったり、意外性を演出したり、
しみじみとした余情を表現する時
などに、この倒置法が使えます。

・大した進歩だ 去年に比べれば
(驚き・感嘆)

・絶対に許せない、この犯罪だけ
は。(憤りの気持ち)

・相変わらずだね、君も。(皮肉)
・いつまで続くんだろ、この渋滞
ときたら。(嘆き)

・僕は夢を追いかける、死が訪れ
るその瞬間まで。(誇張)

けれども使い過ぎると鼻につい
たり、逆に効果を薄めてしまっ
たりするので、ここぞという時を狙
って使ってください。

また形容詞や形容動詞の場合は、
単純に順番を変えただけでは意味
まで違ってしまふことがあります
ので、気をつけましょう。「赤い
帽子の、きれいな女性」なら、き
れいな女性が赤い帽子を被ってい
たことになりませんが、「きれいな
赤い帽子の、女性」では、きれい
なのは赤い帽子だけだった、とい
う意味になってしまいます。

倒置法は表現の効果を狙った叙
述法なので、客観的な事実や結果
を書かねばならない公文書やビジ
ネス文書、論文には不向きです。
逆に自分の心情を訴えたいエッセ
イや日記、読み手の感情を強く動
かす詩や演劇、小説には効果的で
す。賢く使い分けましょう。



日本自分史センタープレゼンツ
第11回春日井市 掌編自分史
全国公募のお知らせ

募集テーマ

あなたの

ヒーローは誰？

募集要項

◎応募資格

どなたでも応募できます。

◎応募規定

応募は1人1点まで。

募集作品は応募者が創作した未公表
の作品。選考中に同作品を他へ応募
しないでください。

◎応募方法

左記までご郵送下さい

〒486-0844 春日井市鳥居松町5-44

文化フォーラム春日井

かすがい市民文化財団「掌編自分史係

応募作品より選ばれた40作品が

1冊の本になります！

◎応募締切

2013年9月29日(日) 必着

その他 詳細は(公財)かすがい市民
文化財団(TEL:0568-85-6868)まで。
また、飛鳥でもチラシを配布しており
ます。お気軽にお問い合わせ下さい。

出版物紹介

著者にききたい！ 私の出版体験談

『図説 土佐備長炭 21世紀に伝えたいこと』

本に込めた4つの願い

炭と産業と文化研究者

（室戸市木炭振興会・土佐備長炭製炭技術保存会）

宮川 敏彦

はじめに

本書は世界に誇る、紀州・日向と並んで生産される土佐備長炭について書いた図説本です。郷土の出版社として多くの本を製作して来られた飛鳥出版室のみなさんのおかげできれいな本にさせていただきました。ありがとうございます。

「備長炭」は、一般家庭用やバーベキュー用木炭としてホームセンターなどで販売している黒炭とは違って、「白炭」として分類される鋼鉄ほどに堅い炭で、火力・火持ちがよく、焼肉やウナギの蒲焼きなど、炭火焼き料理店で長時間利用される木炭です。この炭は、

炭窯から真っ赤に焼けた炭を窯の外にかき出して灰をかぶせて消火することが特徴で、その灰が表面に付着して白くなることから「白炭」と呼ばれます。

土佐備長炭は、高知県の山地に茂るカシとウバメガシを原料に発展しました。現在の生産者は戦後の最盛期の四十分の一、四十世帯約六十窯、年間約八〇〇トンを生産しています。

産地は、室戸市・東洋町・土佐清水市・大月町のウバメガシが生育する県東西両端の地域です。

『図説 土佐備長炭 21世紀に伝えたいこと』は、私の最初の著作『土佐備長炭 地域が育む暮らしの文化』（高知新聞社 一九五

五年）と二〇〇一年の論文「土佐備長炭の技術史的研究」をもとに改定・再構成し、谷田貝光克先生（東京大学名誉教授）の「炭の科学」を八章に収めています。私にとりましては、これまで二十五年を歩んできた研究であります。高知県伝統の備長炭産業で二十一世紀へどうしても伝えたいという「遺言」のつもりで書きました。中学生・高校生・一般向けのやさしい炭の本です。

本書に込めた四つの願い

この本は、土佐備長炭についてこれから考えてみようという方々、そして、産地でがんばる青年生産

者への応援歌のつもりで書きました。

本書に込めた四つの願いです。

第一は、「土佐備長炭一〇〇年から学ぶこと」です。厳密には歴史一〇〇年ではなく、平安時代以後一二〇〇年の白炭の伝統を受け継ぐものですが、長い間にさまざまな技術に変化してきましたので「土佐備長炭」として確立されてからの一〇〇年としています。ここで強調したいのは、もともと「炭の生産と文化は平和の産業である」ということです。

太平洋戦争中には、全国の炭窯で地域の伝統的な木炭生産は中止され、半白炭といって、ガス分が多く残る自動車用燃料炭（ガス炭



出版物紹介

戸次に死す

赤城 康彦

天下統一に向けて九州討伐を狙う豊臣勢と、九州制覇の野望に燃える島津家とが戦火を散らした戸次川の戦い。その激闘の様子を合戦前夜から戦いの渦中まで、史実を元に、主に讃岐の將軍・十河存保にスポットを当てて描かれたフィクション作品。

十河氏だけでなく、豊臣勢の援軍として共に送り込まれた仙石秀久や長宗我部元親・信親ら、登場する武士たちの心情の変化を細やかに描きながら、ひとつの戦いに懸けた男たちのエネルギーと緊張感がテンポよく綴られています。



B6判 65頁
定価 500円(税込)

織烈を極めた戸次川での合戦の舞台裏
ひとつの戦いを前に、男たちが抱いていた想いとは？

が、国の命令で生産させられました(昭和十四~二十四年が、国の木炭統制の期間)。年配のみなさんには、木炭炉を後部に乗せたバスやトラックを見た経験がおりと思います。ガス分の少ない高級な備長炭は「戦争の役に立たない炭」だったのです。

また、安芸高等女学校の生徒たちは、勤労奉仕で安芸市の温泉地・畑山方面から山越えに標高五〇〇メートルの枯井谷部落を経由して安芸市柵ノ木の木炭集荷場まで、毎日、炭俵を荷って運んだといいます。

ます。栲原の山中にも戦争があったのです。

高等学校の男子生徒たちは、女学生とは別に、勤労動員として菅林局直営の炭窯に派遣され、「銃後の守り」手として働かされました。こうして、戦時中は学校の勉強どころではなかったのです。

平和時代になった戦争時以外でも、世の中の大不況、東アジア炭の洪水のような輸入攻勢、さまざまな困難に直面し、それでも炭を辞めない強固な精神で、先人たちは木炭産業を守り、日本のエネルギーを支えてきたのです。

炭産業は長い歴史と伝統に支えられていますので、これからの青年製炭者には、歴史と技術、文化をしつかりと学んで欲しいと思いました。窯を作る技術、山で木を伐る技術、そして炭を焼く二十日間の技術、完成した炭を規格別に正しく分類して出荷する技術。一本一本の原木と炭に愛情を込めて欲しいことです。炭は焼く人の丹誠込めた作品なのです。

第三に、増加しつつある青年の製炭者への期待と支援です。若い人たちの誇りある未来を開くことが、木炭産業の持続への何よりの力です。人間らしく生きることができると所得の保障、危険と過重な製炭労働の軽減が、これからは大切です。



A5判 207頁
著者 宮川敏彦・谷田貝光克
定価 1600円(税込)

第四に、炭は焼肉やウナギの蒲焼きなど燃料としてとても貴重であるとともに、農業や環境改善への炭素成分の科学的利用の進歩に世界中が着目する時代となりました。日本でもかつては考えられなかった広い利用法が研究されています。炭素の利用には、無限の可能性があるとされます。第八章を参考に「くらしの中の炭」の利用についてご覧下さい。

私の好きというよりはオススメな本っぽいもの、それは「飛鳥かわら版」です。飛鳥かわら版には色々な方々に文章を書いていただいたり、飛鳥の行事（お花見など）の様子だったり、出版物の紹介などが載せてあります。

私も印刷というカタチでかわら版の制作にかかわっています。飛鳥のかわら版には色々な人たちのチカラとキモチが集まってギュっとなつまった物になっています。宣伝みたくりますが、ぜひみなさんに手に取ってもらって読んでもらい、他の方にも勧めてもらえればありがたいですね。

というわけで飛鳥かわら版をこれからもヨロシク！（中村）

『飛鳥かわら版』
飛鳥出版室：制作・発行



『楽しみは創り出せるものよ』
ターシャ・テューダー：文
リチャード・W・ブラウン：写真
食野雅子：訳

この本はターシャ・テューダー好きの私の誕生日に友人よりプレゼントされたものです。

2008年に92歳で亡くなってからもターシャの生き方にあこがれる人は多いと思います。アメリカ北東部のバーモント州にある、およそ30万坪の広大な土地に家を建て、一日の大半を草花の手入れに費やし、ドレスやエプロン、山羊の乳搾り、パンやジャム作りなどをしながら、ほとんど自給自足の一人暮らしをしていました。タイトルの「楽しみは創り出せるものよ」というターシャの考え方に心の豊かさを感じます。また「いくら年を重ねてもわたしにとって、今がいちばん楽しい時です」という言葉には、もう若くない自分にはとても勇気づけられます。コーギコテージの写真とともにターシャの日々の生活の想いがたくさん詰まっていて、いまでもターシャの息づかいが聞こえてきそうで心が落ち着きます。珠玉の一冊です。（川田）

私が好きな本は「アッチュム！ フランスのかわいい古書を探しに」です。かわいさとはほど遠い私ですがかわいい物を見るのは割と好き+古い本が好きなので思わず衝動買いしました。60～70年代の小学校の教科書や絵本、おもちゃ等色々たくさん載っていて、印刷の色やデザインも面白く何度読んでも飽きません。子ども向けのイラストや人形がとても愛らしいので眺める度に和みます。仕事机に置いてるので、行き詰まった時にめくって気分転換したりしています。

もう買ってから随分たちますが、ずっと楽しめそうな一冊です。（平山）

『アッチュム！ フランスのかわいい古書を探しに』
畠井 真理：著

夏休み緊急企画！

あなたのオススメ
「本 …っぽいもの」
教えて下さい！



夏は暑い。でも世間は節電の時流。電気代も上がる一方。

でもやっぱり暑い。暑いもんは暑い。涼しいところで過ごしたい！

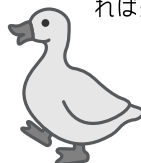
そんな時は、涼しい近所のカフェへうま～い珈琲でも飲みに出かけてみては？
ひとつの場所に集まり、涼しい空間を共有することを「クールシェア」といいます。
環境にもお財布にも優しい「クールシェア」、そのお供は……？

…ということで、飛鳥の社員散名を独断で選出し、
「オススメの本っぽいもの」を教えてくださいました！
（※本っぽいもの…「冊子状の紙媒体」と勝手に定義。）
一体どんなオモシロイものが出てくるのかー！
と思いましたが、皆さん意外と真面目に回答してくれたようです。

表紙には可愛いあひるの絵。それからふわふわとした柔らかな黄色い毛並み。その名の通り、見て触って楽しめる仕掛け絵本「さわってあそぼうふわふわあひる」が最近のお気に入りです。

友人が娘の誕生日にと贈ってくれたもので、色や形に加え、感触も楽しめるというつくりの絵本…なのですが、可愛いだけじゃないのがミソ。何気なく開いたページに広がる「ひきがえる」や「イグアナ」…何故このチョイスにしたんだろう？と思わず笑ってしまう程のインパクト！でも子どもの絵本に対する反応はいたって真面目なんですよ…子どもと大人の違いなんだろう、興味深い所です。機会があれば是非見てみてください。

『さわってあそぼうふわふわあひる』
M.ヴァン・フリート：作・絵



催し物案内板〈7月～9月〉

第28回 高知県独立書展

と き 7月16日(火)～7月21日(日)
10:00～18:00 (最終日は16:30まで)
ところ 高知市文化プラザ かるぽーと
7階第1・2展示室
入場料 無料

企画展 昭和のレトロ展 -Part 2-

と き 7月20日(土)～11月17日(日)
ところ 越知町立横倉山自然の森博物館1階ホール
入場料 無料
※但し、入館料は別途必要。大人500円、高校・大学生400円、小・中学生200円。20名以上の各団体は100円引き。70歳以上は半額。身障者の方は入館料無料。

第58回 立脇バレエ発表会

と き 7月28日(日)
昼の部 13:00開演 (12:30開場)
夜の部 18:00開演 (17:30開場)
ところ 高知県民文化ホール (オレンジ)
入場料 2,000円
チケット取扱所
高新プレイガイド、高知県民文化ホール、立脇千賀子バレエ研究所

2013 岩崎フォトクラブ結成40周年写真展

と き 8月2日(金)～8月11日(日)
9:00～17:00 (最終日は16:00まで)
※会期中休館日は8月5日(月)
ところ 香美市立美術館
入場料 無料

堀田幸生バードカービング展

ありがとう141年『追手前小学校・校庭の木で作る鳥たち』
と き 8月23日(金)～9月2日(月)
10:00～18:00 ※休館日:火・木曜日
ところ 高知こどもの図書館2階ギャラリー
あとりえほん

第37回 高知現日書展

と き 9月3日(火)～9月8日(日)
10:00～18:00 (最終日は16:00まで)
ところ 高知市文化プラザ かるぽーと
7階第1展示室
入場料 無料

前進座特別公演 赤ひげ

と き 9月11日(水)
①14:00開演 (13:30開場)
②18:30開演 (18:00開場)
ところ 高知県民文化ホール (オレンジ)
入場料 前売5,000円 当日6,000円
チケット取扱所
高新プレイガイド、片桐書店、高知市民劇場事務局

小高坂こすもす Autumn Concert

と き 9月21日(土)
14:00開演 (13:30開場)
ところ 高知県立美術館ホール
入場料 500円
*お問い合わせ先*080-3165-4861 (井上)

雑書き

◆飛鳥のウェブサイトにリニューアルに先駆けてスタツフブログができました。(http://asukastaff.blog.fc2.com) 飛鳥の現ウェブサイトにもしリンクしてありますので、ぜひご覧下さい! 現段階では八割方、飛鳥園芸部の話ですが(笑) 当の新ウェブサイトのの方は:鋭意制作中! お披露目はもう少し先になりそうです。

(上)

◆飛鳥ではこの四月から、「シャツフルランチ」(月に一度、四人一組でランチを食べに行く)を行っています。目的は、社内のコミュニケーションをはかるため。社長の提案から始まりました。メールで社内報告することになったいるんですが、目的がいつのまにか「新しいお店紹介」になっているんじゃないでしょうか?

(西)

あすかの社窓から

何年前に植えたかな? 「栄養をいっぱい入れて植えるからね」って、種ちゃんにニコニコ話してたっけ。あれから毎年毎年見事に咲いてくれて楽しませてくれていたのに。昨年、五月に種田さんは逝ってしまいました。なぜかアジサイは一輪も花をつけずに終わりました。今年は見てください。すごいでしょ。(下写真)

種ちゃんの

アジサイ



印刷屋さんの 「すったもんだ」

当日の会場の様子



（前号の続き） 依頼を受けたものの、お役に立てるか不安はあった。予行練習では約80分！ 質疑応答込みでジャスト90分！ 何とかいけるという確信もでき、当日を迎えた。

会場に到着し、ご挨拶に何うと、担当者が開口一番「先生、今日はよろしくお願いします」ときた。「せ…先生なんてやめて下さい」とお願いしても講義終了まで完全に「先生」扱いされ、むず痒いというか何というか。

講義は、最終登録数は100名を超えていたが、実質は80～90名といった所。来て下さっていた方々は私の講義を聴きに來たというよりは「高齢者教室」に参加することが楽しみという感じもあったので、リラックスして話げできた。時々脱線もし、最後は走りばしりになってしまったが、それでも無事に終えることができ、私の「先生」の任は解かれることとなった。

日頃は仕事として何気なくやっている事を、アウトプットするために改めて見直す事ができ、とても貴重な経験ができたと思う！ 文化振興事業団さんには感謝！
（永野正将）

わが家の太郎 26

マイペース

永野 雅子

今年の二月、東京に出張することになって、息子にメールをする
と泊めてくれるという。

お正月も帰って來なかつたので
久しぶりの再会と、どんな所に住
んでいるのか期待して行つた。

椿山荘での会議も終わり、迎え
に來た息子曰く、

「タクシーで行くほどの距離じゃ
ないき、これに乗ってついてきて」
見れば自転車。彼はキックボード
で前を行くという。

椿山荘といえば東京でも一流ホ
テル。私は母から譲られたカシミ
アのコートを着ている。その熟年
の婦人がチャリにまたがってホテ
ルをあとにするのである。

ホテルのドアマンの視線がやけ
に気になる。

必死で息子のあとを細い小路を
曲がりながら着いた家は、意外に
も落ち着いた静かな場所ので、彼の

部屋も住心地良さそうだった。
やれやれと腰を下ろすと、なん
だか寒い。なんと部屋の温度十九度。
「寒くない？」

「慣れたらそれほどでもないよ」
と、一向に上げてくれそうにない。
地球環境のためには貢献するか
もしれないけれど、遠來の客？

をもてなす温度ではない。結局そ
の夜は厚着をしてしのいだ。
そういうえ、息子は昔からマイ
ペースで私たちをよく困らせたこ
とがあつたなあと、あの時この時
を思い出す。

久しぶりの親子水入らずの一夜
を過ごして無事家に帰つたら、太
郎は、ふてくされた様子で寝ていた。
後日、孫たちが遊びに來て、

「太郎、遊ぼう！ おばあちゃん
ボールない？」

と、庭で太郎にボールを投げたり、
追っかけたり、孫たちは遊んでく

れているつもり。

突然、太郎が庭の隅の、前に脱
出したネットの所へ行つたかと思
うと、

「ウオーツ、ウオーツ」

と言いながら、ネットを駆け上
ろうとする。

あまりの行動に私たちもびつくり。
「太郎は遊びとうないみたい。そ
つとしちよこ」

と、孫たちを家にあげた。
どうも太郎にしてみれば、私と
静かに暮らすことに慣れていて、

いきなり小さい子がやって來て騒
がれるのは自分のペースに合わない
ようだ。

犬といえどもマイペースがある
らしい。

（ながのまさこ／飛鳥常務取締役）

